

歴史と自然がいっぱい

歩けばまちが好きになる

わたしたちのまち向日市は、今から1200年ほど前の都「長岡京」の政治の中心地でした。また、江戸時代には、西国街道沿いに商工業が発達し、乙訓の政治・経済・文化の中心として栄えたまちです。

市内の西部一帯には竹林が美しい西ノ岡丘陵が横たわり、閑静で豊かな自然に恵まれています。

この連休中に、一度ぶらりとまちを歩いてみませんか。5月のやわらかい日差しを浴びながら、古き都とふれあう、きっと何か新しいシーンに出会えることでしょう。



車塚古墳 横穴式石室をもつ6世紀中頃の前方後円墳で、全長45m、後円部直径30m、高さ8mあり、乙訓地域一帯を治めた豪族の墓であるとされています。

▽石室の公開は、5月19日(日)26日(日)午前10時~午後4時。5人1組で10分間隔で公開。申込みは、18日(土)までに文化資料館 ☎931-1182へ(電話可)



車塚古墳



桓武天皇皇后陵



トリムコース 向日神社(勝山公園)を起点として、西ノ岡丘陵の美しい竹林を通り抜け、竹林公園(京都市)へといざなう片道2.6kmのコース。ジョギングや散策コースとして市民に親しまれています。



向日神社 長岡京遷都より約70年前の、元正天皇の養老2年(718年)創建と伝えられています。本殿は、室町時代の建築で「三間社流造」といい明治神宮のモデルになったもので、国の重要文化財に指定されています。



西国街道 京より西国へ向かうかつての主要幹線道路で、今も街道の道筋には当時の面影を残す古い家並みが立ち並んでいます。

また、上植野町下川原地域は、石畳と街路灯がいしえの情緒あふれる「歴史の道」として整備されています。



日像上人がこの石の上で説法をしました



橋の架け替え費用のため通行人から一文ずつ徴収したのが橋の名の由来



大極殿公園 「大極殿」とは、天皇が政治を司る最も重要な場所です。長岡宮大極殿跡は、昭和36年に発掘調査が行われ、北側の小安殿とともに国の史跡に指定され、公園として整備されています。



題目踊り 5月3日(日)午後1時30分から「花まつり」で賑わう石塔寺の本殿で行われます。鎌倉時代の末頃、日像上人に昼食を差し上げようとしたところ、立ちのぼる湯気が「南無妙法蓮華経」のお題目を描き、それを見た村人が喜び踊りだしたのが始まりとされています。京都府の無形民俗文化財に指定されています。